

第 185 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 29 年 3 月 14 日 (火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

1. セルスペクト株式会社 代表者 岩淵 拓也 氏 (<https://cellspect.com/>)

【住所】岩手県盛岡市北飯岡 1-10-82 【設立】2014 年 4 月 【資本金】157,900 千円

【事業概要】当社は疾患分子センシング技術と IT ソリューションを横断的に融合させることで次世代の医療に求められる低侵襲化、小型化、医療の個別化の 3 要素を達せられるアイテム、並びにそのソリューション事業の開発を推進しています。

- 1、「気づきヘルスケア」を実現させるモバイル端末活用型検査システムの開発とそのソフト化推進事業
- 2、次世代型 Point Of Care Testing kit とそれに適する臨床診断システムの開発事業
- 3、子宮内膜症性腫瘍の良悪性診断を可能にさせる非侵襲診断プローブの開発事業
- 4、新しいプライマリーケアツールの開発とそれを活用させたコンシューマーヘルスケアのグローバル展開 (世界初の遠心分離フリーの血漿分離自己採血キット)
- 5、癌個別化診断を可能にする 1 細胞採取診断システム、病理診断システム、並びにコンパニオン診断薬の開発

【コメント】本社をなぜ盛岡にしたかという、半導体関連が衰退して技術はあるけども仕事が減ってきている状態。物造りの様相を持っているサプライヤーが集結しているので医療機器の開発と一緒にやれば進むのではないかとこの事で盛岡で始めた。30 名前後のバイオベンチャーで、シリコンバレーの仲間と一緒にアメリカやヨーロッパにも波及するようマーケティングしている。「気づきヘルスケア」は一滴の血液から検査、測定データをクラウドに上げ、ドクターコンサルジェサービスまでリンクして適切なコンサルを受けることができるようにして行きたいとおっしゃっていました。

2. 株式会社アイキューブド 代表者 梶田 雅彦 氏 (<http://www.i3-inc.co.jp/>)

【住所】東京都新宿区若葉 1-6-1 【設立】2016 年 7 月 【資本金】2,050 千円

【事業概要】システムの開発、「Smart Athlete」の開発

- ① 労働集約型サービスであるため供給不足のスポーツ栄養管理支援を独自技術で IT サービス化
- ② 一人ひとりのアスリートすべてに個別的に最適なスポーツ栄養管理支援を提供
- ③ 監督／指導者にアスリートのパフォーマンスアップの機会を逸さないマネジメント支援を提供

ビッグデータ活用による巨大なマーケットへの挑戦

Smart Athlete が保有するナレッジと基礎データの活用による高ユーザビリティのヘルスケア支援

【コメント】学生時代にボクシングをしていたが、オリンピック選手でも栄養指導は全く受けていない。ボクシング選手にとっては減量が重要だが試合前に体重 7 キロオーバーで一週間前に減量が間に合っても試合に負けると言う事があった。今はスポーツ栄養学が進化しているが恩恵を受けている人が少ない。アスリートにはトレーニング中心のメニューばかりでスポーツ栄養士も 174 人と絶対的に少ない。トッププロしか受けられず、セカンドアスリートの大学生、高校生等はほとんどやられていない。栄養学とスポーツ、AI エンジンを開発してアプリで指導を受けられるようにする。将来的には体組成計に乗っただけでアドバイスを受けられるようにしたいとおっしゃっていました。

3. 株式会社ツクタ技研 代表者 營田 茂生 氏 (<https://www.tsukuta.jp/>)

【住所】神奈川県横浜市西区浅間町一丁目4番4号小泉ビル202 【設立】2014年12月 【資本金】300,000千円

【事業概要】

・食事写真から摂取カロリー／摂取栄養素を算出する「Cal かん」

—クラウドサイドの機械学習を判別器として、スマートフォンアプリから送った食事写真の種別を判別しその食事の摂取カロリー／摂取栄養素を算出

—画像判別の精度を向上させるための教師あり学習を、半教師あり学習に置き換え、その代わり協調学習に人を加えクラウドソーシングで協調学習を進める M&ME (Man & Machine Ensemble)

・M&MEについては他の応用分野に適用したい企業に協業として提供可能

【コメント】なぜこれをやろうと思ったかと言うと、高血圧が原因で脳内出血で二週間程度入院した。その時の入院生活はつらかった。もう入院したくないという思いがあり、生活習慣病などは健康的な食事の継続が未病から健康への道となると考えた。継続的な食事の管理が重要だけど栄養士に頼むと時間とお金がかかる。スマホで簡単な操作で食事写真から摂取カロリーや栄養が分かればいいと考えた。人の簡単な操作と教師あり学習との合体による統合的機会学習が特徴とおっしゃっていました。



4. 株式会社コムシーズ 代表者 女屋 達廣 氏、発表者 専務執行役員 吉光 久仁彦 氏

【住所】東京都町田市小野路町 3186-5 【設立】2006 年 5 月 【資本金】10,000 千円

【事業概要】

当社は、セキュリティのスタンダードである RSA の概念を根本から変えたセキュリティ製品のパッケージ化に成功しました。このことから、「モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC)」より、当社製品の普及提供が、情報漏洩事件が多発している現状を変革できるとの高い評価を受け、「MCPC award2016 セキュリティ委員会特別賞」を受賞することができました。

国際特許技術を土台にしたシステムであり、権限のない内部者やハッカーなどから、サーバや端末、スマートフォン、タブレットなどの情報内容の暴露・改ざんを遮断、情報の漏洩を暗号化セキュリティにより未然に防止することが可能となります。

なお、これまでの納入実績企業として、本田技研工業様、NTTデータ様、八千代銀行様などがあります (パッケージ化前の製品として)。

【コメント】情報漏えい事故やパスワード解読被害が頻繁に起こっている。既存のセキュリティシステムの限界が来ている。外部委託しているのが情報漏えいの 9 割ぐらいの原因。我々は情報の暗号化こそ最後の砦と考えている。従来のセキュリティはアクセス管理方式、それでは対応できない。我々のは権限チェック方式による管理が特徴。開発者でも部外者となる、鍵による一元管理が可能、導入したマシンに金庫エリアを作りだす。本人が許可したものしかデータを見ることができない仕組みにしているとおっしゃっていました。



《感想》今回も様々な分野の企業に御発表頂きました。いずれの企業も新しいマーケットを開拓していこうとされており、今後の展開が楽しみです。もし今後、発表会での発表をご希望とされるお方がいらっしゃいましたら、数カ月先まで決まっておりますので早目にご連絡をお願い申し上げます。

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード
井 汲 美 樹